

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	鋸南町家庭教育支援チーム
②活動拠点	鋸南町教育委員会 生涯学習室
③活動範囲	鋸南町全域
④組織体制	<u>10 人</u> 社会教育委員 1 人 子育てサポーター2 人 青少年相談員 2 人 教員(幼小中) 3 人 子ども育成会 2 人
⑤活動開始年度	平成21年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 鋸南町教育委員会 生涯学習室 (TEL)0470-55-2120 (E-mail) kyoui@town.kyonan.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ・保幼小中と連携し、それぞれのニーズに合わせた子育て講座、家庭教育学級を毎年実施し(年間 8 回程度)家庭教育力の向上、子育ての支援を努めている。 【学校等や地域の子育て関係団体、保護者、企業など地域全体が参画するための創意工夫】 ・子育て広場において木曜日にイベントを実施し、様々な団体から協力を得ている 【当該地区における家庭教育支援活動の推進】 ・少子化、過疎化が進んでいる地域において、親子同士が安心してすごせる場(子育て広場)は、必要性が高く、親同士の交流だけでなく親と子育てサポーターさんとの関係づくりにもなっており、常に子育てや家庭に関する相談ができる体制となっている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・保幼小中と連携し、それぞれのニーズに合わせた子育て講座・家庭教育学級を実施することで、親子で参加する取り組みや、学習機会の提供、地域の情報を提供することができ子育てに悩む親に対し支援することができた。 ・子育て広場におけるイベントを開催することで、子どもを持つ親同士、新しく地域に来られた方、近隣市から来られる方の交流の場になっている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()